

《巻頭言》

今後 青山浩之

《論文》

漢詩実作教材「漢詩カード」試論 —中学校・高等学校での教材として— 高芝麻子

近世における『平家物語』の教材性 —素読・書写のためのテキストとしての様相— 菊野雅之

国語科と音楽科における関連的な指導の可能性—「鑑賞」・「批評」・「語彙」から見る指導内容の関連性—

関向央奈

大正時代の「デイモンとピシ阿斯」—シャーロット・ヤングと鈴木三重吉の間 佐野幹

国語の教師力向上に資する指導主事の関与の在り方に関する研究 —国語の教師力向上に資する指導主事の関与の過程の原型を模索する— 本間隆司

《研究ノート》

NHKテレビ番組「ブラタモリ」にみられる課題解決の過程 —タモリ氏らは「旅のお題」をどのように解決しているか— 達富悠介

《資料》

大学生の古典力調査報告Ⅸ—平成28年度横浜国立大学教育人間科学部学校教育課程 —1年次生の古典に関する関心度調査— 安野葵

高校生の書字力を伸ばす書教育についての課題調査 —〈「書くこと」と「文字文化」に関するアンケート〉の集計結果と分析・考察— 木津愛野

《実践報告》

「和語・漢語・外来語」の実践 —言葉の歴史を考える単元づくり— 今野優香

「付属語」助詞指導の実践 —助詞指導に山田文法を用いることの意義— 森山陽

主体的・対話的で深い学びを実現するための漢文授業の提案 —白居易「香炉峰下、新卜山居、草堂初成、偶題東壁」を教材に— 宮田滉大

高等学校における漢詩のリライト授業 —相互理解、表現としての漢詩— 田中怜

パフォーマンス課題に基づいたルーブリック作成の試み —「高度専門職としての教員」育成を目指したルーブリック作成ワークショップの事例を通して— 達富悠介・石田喜美

《書評》

アンドリュー・バーン著、奥泉香編訳（訳 石田喜美 田島知之 松田結貴 水澤祐美子 村井明日香 森本洋介

和田正人）『参加型文化の時代におけるメディア・リテラシー —言葉・映像・文化の学習—』 岩田晴之

府川源一郎著『「ウサギとカメ」の読書文化史：イソップ寓話の受容と「競争」』 小田隆拓

《エッセイ》

伝統と文化の根源としての天皇論 —折口信夫『大嘗祭の本義』を読み解く— 福井雅洋

甲斐利恵子国語教室に学びて —2017. 10. 24-2018. 01. 15— 達富悠介

《平成29年度卒論・修論報告》

根本大暉/坂田有加/加藤俊志/石川万美子/浅利みくる/湊菜実/鎌田泰春/久保田菜月/米山藍/堀越優希/大崎ひかり/中田華子

《編集後記》